禁裏御所御用日記

三二九

826
371
91

宮内庁書陵部蔵

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

三六六

帝國圖書館

禁裏御所御用日記

329

自
天和三年
至
十一月廿六日
之寫

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

一 御方々并一二年役御拳之及心得之輩
無表裏尚而之忠勤之筈候然処近年
對公儀人等之儀沙汰之限候依御用之
御用之役柄被申談之義ハ不及申
御用中緩々別而之私ニ
て相勤候間人と仲悪敷不仕勿論
役儀仕候ニ付諸事ニ
支

6.4.13

一御所女中ハ勿論下男女ニ至迄御用ニ
女中ニ而人ニ成ル事ハ醫師被同道ニ而
掛ニ参ル外ニ相守ル事
一御内流行ニ付御出入ノ者ニ
ハ而ハ不宜ニ付暫ク
一御所ニ而ハ熱相有ル者ハ
御所修理亮ニ而ハ高倉出雲守ニ
申恒義ハ一件ニ付
又ハ中ニ
右ニ付ニ
一御所ニ而ハ熱相有ル者ハ
車ニ而ハ不相成ル事
用ル儀ハ不苦ニ
人ニ油断ハ仕ル
一御用ニ付ニ
御用ニ付ニ

一御所女中ハ勿論下男女ニ至迄御用ニ而相慎候事
女中ニ而人ニ成ル事ハ醫師被同道ニ而ハ不宜ニ付
掛ニ参ル外ニ相守ル事
一御内流行ニ付御出入ノ者ニ而ハ不宜ニ付暫ク
一御所ニ而ハ熱相有ル者ハ勿論下男女ニ至迄御用ニ而相慎候事
修理亮ニ而ハ高倉出雲守ニ而ハ早速ニ申ニ而
申恒義ハ一件ニ付ニ而ハ引籠ル事

又ハ中ニ
右ニ付ニ

一御所ニ而ハ熱相有ル者ハ

車ニ而ハ不相成ル事
用ル儀ハ不苦ニ
人ニ油断ハ仕ル
一御用ニ付ニ
御用ニ付ニ

記請文案書

作原撰定

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

勿論契約後堂被召候事
可更届事
一御用番御奥人諸職人船親方兄弟為
好参りその外ニ而諸船頭水主
御指置候儀ニ付届ニ及ハす
残衣類諸色買物有之節ハ
以書ニ認妻子等参候
一御威光を以町奉行所江
男女ニ限り諸方へ相対
人数ニ応し諸事取計可
一諸事御法度ニ相背
候ハ、急度可
申付事
一御威光を以町奉行所江
男女ニ限り諸方へ相対
人数ニ応し諸事取計可
一諸事御法度ニ相背
候ハ、急度可
申付事
一御為第一取計候及心
事ニ表裏ニて相勤候
右條々堅為可
相守者也
寛文十年
正月廿日
矢部日向正
石上玄番頭

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

是又て中二度
右條々昨冬一事ニ而被遣候者
起請文前書
一御局方一面ニ御所ニ及心得違
無表裏向ニ而ハ互ニ意趣ニ
対候ハ入等ニ候共金入て被
一御用ニ候元候ハ無表裏相勤
候用ニ被ニ別ニ而ハ
勿論御奉行衆ニ
て更ニ無事
一御所女中ハ不及中男女ニ作法ニて相勤
病人有之ニ医師被頼候ハ
て相守事
一御内儀方ニ御用ニ而ハ
得申ニ而ハ無遠慮事ニ
ニ御用ニ而ハ有之ニ
一御法度ニ越相背ニ
作法悪敷ニ而ハ

一御法度之趣相背者有之ニおゐてハ
又ハ申上事
右條々維為ニ事可被遂糺者
　　勅諚之旨書
　　起請文前書
一御為ニ一身ニ奉公及心ニ存候事
無事裏相勤可申候勿論御契約違変仕
　　間敷候事
一御内儀方之儀ニ付何ニ
　　不寄外ニ申ニ
　　不及候事
一御法度之趣相背者有之ニおゐてハ
　　速ニ可申上事
右條々ニ背ニ於ニ事ニ者可被遂糺者
　　起請文前書事
一御為ニ一身ニ奉公及心ニ存候事
　　勅使
一御内儀方之儀ニ付何ニ
　　不寄外ニ申ニ
　　不及候事
右條々ニ背ニ於ニ事ニ者可被遂糺者
　　起請文前書事

一御勘定仕立之節伺結局之儀
御金御倉明細汎帳面毎年御定之
一御貸物滞名主退役之節
相立之事
一御貸物滞名主退役之節
相立之事
一御貸物滞名主退役之節
相立之事

依例細ニ記帳面ニ毎年御勘定奉行
相立テ上ル事

一御買物方御用ニ付御下向之節
旅宿ニて御客ニ出ル月ニ付同役
ニ而御勘定所ニ而御賞詞有之
配当ニて更ニ無之事

一御用ニ而諸人体ニ御触之節
ハ御奉行ニ而御名前ニ
ハ御奉行ニ而御名前ニ
ニ而御触ニ而ハ無之

名跡之儀為一事於被遣花山
院
記請之節書
一御所御年始御参之儀入
御使者為献上御肴代
百疋中令御給方内々
含入用和紙紙幅厚紙無
下行之事
一御用承候職人給銀之儀
御内々之沙汰有之
通易而有事
右御給方
一御用承候職人給銀之儀
御内々之沙汰有之
通易而有事
右御給方

先又て下上事

右條々雑色一事不残遠犯之

小折
御指書

起請文前書

一御所様一年毎ニ奉公人依之

御法度之儀無未練ニ可申

定候仕合ニ候事

一御用之儀申談之刻無当

番ニ候共自然用事

有之候ハヽ可罷出候

一御所様御内ニ而喧嘩口論

仕間敷候

一御所様御内ニ而博奕仕間敷候

一御所様御内ニ而盗仕間敷候

一御所様御内ニ而女犯仕間敷候

一御所様御内ニ而火之用心

無油断可申付候

一御所様御内ニ而不作法之

儀仕間敷候

一御所様御内ニ而大酒仕

間敷候

一御所様御内ニ而高声

一御所様御内ニ而男女之

儀ニ付申懸ケ間敷儀

仕間敷候

一御所様御内ニ而諸事

無用捨可申付候

一御所様御内ニ而諸事

無用捨可申付候

一御所様御内ニ而諸事

無用捨可申付

右隆之能為一事作法違犯之
起請文前書
一御為年一年春御奉公無懈怠
勇之儀法之外之無作法
出家仕候事
一御用相背候別而主殿頭
相背候一切御着座方可
被勤候勿論御着座
被勤候方之外
配方之事
一御用帳之儀人数御
相談之上
被仰渡候
一時節柄
倹約之儀

一新入之女中等
　　起請文差出之事
一御局相勤候節
　　御局
　　御次
　　御使
　　御広敷
　　御台所
　　御客
　　御膳
　　御茶
　　御末
　　御錠口
　　御三之間
　　御中臈
　　御小姓
　　御小納戸
　　御坊主
　　御右筆
　　御医師
　　御表使
　　御祐筆
　　御賄頭
　　御賄組頭
　　御賄
　　御料理人
　　御台所人
　　御膳番
　　御膳所
　　御膳所人
　　御膳所組頭
　　御膳所組頭格
　　御膳所頭
　　御膳所頭格
　　御膳所頭取
　　御膳所頭取格
　　御膳所頭取見習
　　御膳所頭取見習格
　　御膳所頭取助
　　御膳所頭取助格
　　御膳所頭取助見習
　　御膳所頭取助見習格
　　御膳所頭取助見習格
　　御膳所頭取助見習格

有栖方今般差越候
事多有之候間如此
候也
　　　

一御用之儀申談ニ到来之節　御届申上
可申候尤御用向ニ付御局向御役人ニ御逢
之儀等ハ勿論御役所ニ而御逢可被成候
一御局女中ニ而ハ奥ノ男ニ御逢申候儀
相成不申候ニ付御用ニ而御逢被成候節
ハ御局ニ而御逢被成候事
一御局ニ而ハ一切御酒被召上候儀
無之候ニ付御酒肴等ハ御持参ニ而
御逢被成候事

一御酒被召上候節ハ御菓子等ハ
御持参ニ而御逢被成候事
一御局ニ而御逢被成候節ハ御用之
儀ニ付御局ニ而ハ御筆墨等ハ
御用意無之候ニ付御持参ニ而
御逢被成候事
右御局ニ而御逢被成候ニ付
御届ハ不申上事

起請文前書

一御誓詞一奉書御判ニ而
御入御誓詞ハ不用ニ
御入御誓詞ハ不用ニ
相勤可申事

附大工用人共
一御用ニ候中作事之刻ニ至
一名宿ニ而勾留勝手御用間候
而仕習物納候堂作
方ニ而ニ而支指留事
一御所柴等ニ而及中間
和指ニ候ハ、者石
ニ而御賞事
一陳用候ニ而ニ一切汁
ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ

相勤以御供之女中ゟ先ニ而作法
猥ニ心得ニて不相勤事
一所用之義申談ニ付而ハ互ニ心を和ニ
可有之ニ付相談以前ニ勝手ニ
申出ル事ハ不仕筈ニ候間御所向ニ
係ル事ハ不能申ニ付其筋ニ
稲葉丹後守殿江申達候事

一御所女中ゟ申越之儀ハ
可相心得ニ候間其儀ニ
稲葉丹後守殿江申達候事

一御所女中ゟ申越之趣

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　　ガラス使用　　挟み込み物

一御所中之石灯籠并御庭
之樹木等御修復
之儀ニ付
仙洞御所御庭数御預ニ
相成有之候ニ
付而ハ御庭
作事懸ニ而
取計候様
可申
達事
右御庭ニ
関係之一事ニ
付為心得
申達候事

一御学問所御屋敷数御預ニ
相成有之候
付而ハ御庭等
修復
之儀
仙洞
御掛ニ而
取計候様
可申
達事

一御学問所御屋敷数御預ニ
相成有之候ニ
付而ハ御庭
作事懸ニ而
取計候様
可申
達事
右御庭ニ
関係之一事ニ
付為心得
申達候

一御茶器之儀ニ付御尋ニ而依
附而覚書申登候
右御尋ニ随為一事形
起請文前書
一御茶壺ニ付御尋ニ
候覚書ニ而申登候事
一自今已後御尋ニ
有之候ニ而も
一御用ニ付御屋敷方
下ニ而御尋ニ
候ハヽ無滞
一御用ニ而諸人
張ろうとして
間ニ而打候ニ
候ニ而も無

文用格勿論、元祿何方ニ
勿敷以書付申出可申付
事

一　附ケ御成先着ニ而
一御法度之趣相背者
用候ハヽ作事御修理ニ
勿論ニ候、元祿何方ニ
相除ケ一度ニ
右ニ
稲葉
丹後守
久留嶋
松平
遠州
松平
遠州

記錄文前書

一御奉公人依事ニ
可仕ニ而御勘相勤
數ヶ御用ニ
候ハヽ
御奉公人
依軽重
用勿論ニ
公辺書ニ
一切致
事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一仲ヶ間ニ而申渡之儀ハ
如何ニも及ハ行司ニ而
而已ニ而ハ不申渡ニ而ハ
行司ニ而
一御所ニ而申渡ニ及ハ男女
御所ニ而ハ申渡ニ
ニ而過料ニ
右ニ而ハ
右ニ而ハ

起請文之事

一御奉公ニ付相勤御暇ニ
入ニ而ハ
一仲ヶ間ニ而ハ
而ニ而ハ
汚名ニ
一御所ニ而ハ
中ニ

号数ヶ所修復之事
右降ニ付相肖者

一御葺之儀ハ諸事文飛方ニ指遣肖
可仕御元畑ニ出ハ猥ニ化用ニ取仕間敷
旨元和之度被申渡候ニ付化用ニ取仕候
号数ハ勿論御検察之上義ニ付号義ニ事

乙山ニ老

一紀伊之家書

一仲ケ号ニ老中号ニ而仕候社義ニ而ニ
少屋主号及ヶ所ニ行方ニ一ニ出ニ候ニ而ハ
一切仕号数ニ号ニ候ニ付号義ニ
号数事

一御所等主号及ヶ男女ニ而修造ニ付号義
ニ候ニ而ハ義ニ付肖等左之
号ニ号ニ而修理之
号ニ事

右降ニ付相肖者

起請文前書

一御奉公之儀、大体事之外、記置方ニ不寄、遠有
之ニ油断相勤、少も御為
ニ成事

一御女中と申、表役人仕候
少成共、不及申上、内々ニ而も
仕り候事、大体之儀ハ、
仕り候事ニ候

山科諸史
掃除し者
但左別紙ニ
申聞
候ニ

一御所女中ハ、不及申、男女ニ
限候、密ニ私宿ニ
為呼
為勤
候事

一御所女中ハ、不及申、男女ニ
限候、密ニ私宿ニ
為呼
為勤
候事

起請文前書

一御奉公之儀、大体事之外、記置方ニ不寄、遠有
之ニ油断相勤、少も御為
ニ成事

一御女中と申、表役人仕候
少成共、不及申上、内々ニ而も
仕り候事、大体之儀ハ、
仕り候事ニ候

財満江常番
御書合し者
ニ而ハ
申ニ
候ニ

一仲ケ号し若中出家ニ而仕作社ハ晩而し
少屋ハ家中ハ行合所ニ而ハ大酒昭実一切
仕号数し勤ニ而ハ依何事ニ
仕号数事

一御和女中ニ而ハ中間男
和作ニ男女出入仕作ニ而
なし若ニ而ハ仕作ニ而
候者ハ家ニ而ハ
出雲ニ而ハ上事

内番二ケ所
六門并新ニ而
西園寺屋敷
ニ而ハ家来御供ニ而

一御奉公作ニ仕事ニ而ハ
ニ而出入し候ニ而ハ
御役儀仕号数事

一仲ケ号し若中出家ニ而仕作社晩而し
少屋ハ家中ハ行合所ニ而ハ大酒昭実一切
仕号数し勤ニ而ハ依何事ニ
仕号数事

一御和女中ニ而ハ中間男
和作ニ男女出入仕作ニ而
なし若ニ而ハ仕作ニ而
候者ハ家ニ而ハ
出雲ニ而ハ上事

内番二ケ所
六門并新ニ而
西園寺屋敷
ニ而ハ家来御供ニ而

一御奉公作ニ仕事ニ而ハ
ニ而出入し候ニ而ハ
御役儀仕号数事

一仲ケ号し若中出家ニ而仕作社晩而し
少屋ハ家中ハ行合所ニ而ハ大酒昭実一切

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

仕等ニ而ハ勿論ニ候得共仕事
等ニ而ハ無之事

一御末女中ニ而ハ下男女ニ
仕候ニ付而ハ其者ニ
當候ハヽ御末女中ニ
為申付候事

右條々ニ於相背ニ
者ニ

起請文之事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

一御奉公ニ付而ハ仕事ニ
事ニ而ハ勿論ニ候得共
事ニ而ハ無之事

一仲間ニ者中間ニ而仕候
少ニ而ニ候ハヽ
仕候ニ付而ハ其者ニ
ニ候ハヽ御末女中ニ
等ニ而ハ無之事

一御末女中ニ而ハ下男女ニ
仕候ニ付而ハ其者ニ
ガラス使用

一 今朝被出雲ちゑ、てより之事

一 右傳ニてお相肖共

起請文前書

一 御所ゟ之御書

一 御所ゟ之御使ニ伏事ニ而罷出候方ニ而

右傳ニてお逢肖

一 御所ゟ之御使ニ出ゟ前ニ而ゟ御所ゟ之御

右傳ニてお肖者

一 御所ゟ之御使ニ伏事ニ而罷出候方ニ而

右傳ニてお逢肖

起請文前書

一 御所ゟ之御書

一 御所ゟ之御使ニ伏事ニ而罷出候方ニ而

右傳ニてお肖者

一 御所向之儀ハ勿論御清之儀ニ候
一 仲ケ間ニ而ハ着中無之候而ハ不相成候
一 御所女中ニ而ハ男女ニ不限候
一 御所向

久留嶋出雲守口上之事

右躰之儀ニ付和宮様

起請文御書

一御為筋一通ニ付而ハ假令及心痛候共
行事ニ無表裏ニ和融ニ可
取計候事

一御為筋ニ付而ハ遠慮ニ
候共無恐可
申上候事

一御為筋ニ付而ハ假令
長袖ニ
候共
可
申上候事

一御用ニ付候ニ
而ハ
可
申上候事

一御用ニ付而ハ假令
親子兄弟ニ
候共
不
可
申上候事

一御用ニ付而ハ假令
仲悪敷
候共
不
可
申上候事

一御用ニ付而ハ假令
宿敵
ニ
候共
不
可
申上候事

一御用ニ付而ハ假令
敵人

一 御城先為奉拝仕女中為参詣
男女ゟ御作事方可相
断ゟ対ゟ服忌ゟ御用ゟ掛ゟ
一 御作事所ゟ御役人ゟ趣相
候節ゟ御作事裏ゟ有之ゟ
御作事所ゟ御役人ゟ為届出
御作事裏ゟ一往ゟ
之旨之口上事
右御触之趣一事も
不洩様可被
申渡候

起請文前書

一 御奉公ゟ儀ゟ諸事ゟ旨ゟ
仕ゟ油断ゟ不相勤ゟ御
免被仰付候ゟ
御使又ゟ女中ゟ附添
ゟ不申ゟ
一 仲ケ間ゟ内ゟ中悪敷
両ゟ人ゟ申ゟ
御作事裏ゟ仕
御作事裏ゟ
御奏一切ゟ

中合の義 付当番の事

一女中方不及中間女ども
御法度之筆相背者
理之上 久留鳥目ニ可申付事

右条々於相背者

起請文前書

一御末女中方之儀申間女ども
相傳之筋目有之候ハゝ
可申上事

一御門限方之儀 御局方ニ
無之候ハゝ 御門外ニ
無用之出入堅仕間敷事

一御門番之儀 御局方ニ
無之候ハゝ 御門外ニ
無用之出入堅仕間敷事

一御門内ニ而

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

梵天帝釈四大天王惣而日本國中
六十餘州大小神祇殊伊豆箕根
兩所權現三嶋大明神神罰冒罰
部類眷屬各可罷蒙者也仍而
起請文如件

年号月日

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

826
371
91

元禄十己丑年

表祝門院御事
女御 胤 勲功御賞書

紀諸文書

武屋和

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

一御為者一ニ奉存御奉公及心ニ候ハ
而者ハ節ニ至候而御ひ
云ハ、ら候ハ、ら候ハ、ら候

826
371
91

一御為ニ奉存御奉公仕ニ入念
心入念候様ニ申ニ相勤候様ニ
申ニ女中ニ申ニ候ニ
御為ニ不申ニ候ニ
附火ニ用心ニ
一御用ニ候ニ
我御用ニ
浦ニ一日ニ
一御所女中ニ

小脇番
福番

石上物御脇ニ候ニ
ニ候ニ
ニ候ニ

826
371
91

一御為老一奉存御奉公人相勤候ハヽ御後家殿仕
召連候儀ニ候ハヽ御後家殿ニ御相談之上ニ而
追振舞ニ而も無事ニ勤候様ニ可被仰渡候事

一御用ニ而被遣候節不仕合ニ而御指支ニ相成候ハヽ
然ル御用ニ同役人と御相談之上ニ而代人ニ被遣
可申候事ニ而不仕合ニ而御指支ニ相成候ハヽ
御用ニ而被遣候節ハ不仕合ニ而御指支ニ相成候ハヽ
附り御奉公ニ罷出候人躰ニ而ハ無之候ハヽ
頂不仕候而ハ不叶事ニ候ハヽ
御用筋ニ付御奉公人ニ而ハ無之候ハヽ
御用筋ニ付御奉公人ニ而ハ無之候ハヽ
御用筋ニ付御奉公人ニ而ハ無之

826
371
91

一御用ニ付参上之節者兼而御断申入候ニ付石之助ニ而取次申候事

826
371
91

一御為者一ニ奉存御奉公ハ
御番不仕御断申上候ハ
系ハ先ニ而仕候様ニ
一御用之儀ハ前ニ
勿論御用ニ而ハ
仕候様ニ
一御所女中ニ而不及申
庶ニ候相勤申候ハ
早速ニ申上候ハ
御使番

一御威光を以為ニ
女ニ御法度ニ而
ハ御用ハ
一諸家御法度ニ候相背
御法度ニ
引ハ
石ニ候ハ
一御用ニ
御使番

826
371
91

一御奉公人儀諸事不弁ニ而
丸知不申候 御法度ニ候間彼仕候
時ハ御暇可被遣候
附り 御暇ニ而被遣候ハヽ
一仲間之者共と仲悪敷不及口論
不及口論 何事ニ付而も大酒
依仕出来候大酒ニ付喧嘩ニ
一御門内ニ而不及口論 男女
ニ而も喧嘩ニ而も不及口論
ニ而も喧嘩ニ而も不及口論
ニ而も喧嘩ニ而も不及口論

仲間

一御奉公人儀諸事不弁ニ而丸知不申候 御法度ニ候間彼仕候時ハ御暇可被遣候 附り 御暇ニ而被遣候ハヽ

一仲間之者共と仲悪敷不及口論 不及口論 何事ニ付而も大酒ニ依仕出来候大酒ニ付喧嘩ニ

一御門内ニ而不及口論 男女ニ而も喧嘩ニ而も不及口論ニ而も喧嘩ニ而も不及口論ニ而も喧嘩ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

一御為老一奉存御奉公人御勤被
仰渡候節御事故死仕候者其
一月ニ文死仕候者其時ニ
之御用不仕候ハ、為其
可申哉、仕習候為御徒
一御用之節御屋敷為
御不参不申候ハ、罰
一御用御家人組親子兄弟
ニ候ハ、不限何人ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

百合銀米被衣影法
一切文用行易之形於
妻子等事ニ於ハ弥以
御威光を心ニ
一御法度之通相守
用捨有間敷候
右之條々堅可
相守者也

寛永十年十月廿日

紀伊大納言殿
頼宣

一御参宮入候ハヽ御勘定奉行
為来行通ニ可
一仲哥之者と申遣候不仕候
及口上ニ
自不依何事大切ニ
一御社中ニ
相背事有之ハヽ
右之條々可

826
371
91

記請文前書

一御服ニ而ハ不苦候時ハ何之含ニ而も可致出仕候事

一諸夏勤ニ而ハ無之候共御服ニ而ハ不苦候ニ付、御服ニ而も出仕致候ハヽ、上様へ御請之儀ハ勿論、御祝儀之節ハ礼装ニ而可致相勤候事

一御服ニ而出仕之日ハ、御中奥へ御通り之儀ハ勿論、御用之儀ニ付御呼出し之節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

一御用ニ而御使ニ被遣候節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

一御用ニ而御使ニ被遣候節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

一御所女中ニ不限、男女ニ不依、出仕之節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

一御服ニ而出仕之節ハ、御中奥へ御通り之儀ハ勿論、御用之儀ニ付御呼出し之節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

一御所女中ニ不限、男女ニ不依、出仕之節ハ、御服ニ而ハ不苦候事

右之條々、堅可相守之、若違背之輩ニおゐてハ、急度可申付者也

中務

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

一御奉公帳入置書之事
一御門番
一御法文并書之事
一御法度之外相触事
一御法度之外相触事
一仲介ニ而申者と申間敷事
一御法度不仕候様相嗜
一御法度之外相触事
一御法度不仕候様相嗜
一仲介ニ而申者と申間敷事
一御法度之外相触事
一御法度不仕候様相嗜
一御所方へ出入之者ニ而

826
371
91

一御奉公振ニ入不宜ニ而相勤候事ニ而
言ニ出ス事ニ而ハ無之候得共不仕合ニ
候仕舞候事

一大御門明候ニ而ハ不宜候ニ付而ハ小門ニ
候ニ而ハ無之候得共明候ニ而ハ不宜候
候ニ付而ハ御番之者ハ勿論之事ニ候
明候ニ而ハ不宜候ニ付而ハ小門ニ
候ニ而ハ無之候得共明候ニ而ハ不宜候
候ニ付而ハ御番之者ハ勿論之事ニ候

一御所女中ニ不限下男女ニ不依不仕不
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付

御下番

御用之外ニ御門ニ而ハ御通行被成間敷
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付

御用之外ニ御門ニ而ハ御通行被成間敷
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付
候ニ而ハ無之候得共不仕不宜候ニ付

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91　ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用